



～ 環境省の「名水百選」選抜総選挙で二冠を達成した、安曇野わさび田湧水群を訪ねよう～

三角島、拾ヶ堰に続く安曇野の扇状地の地形を訪ねるシリーズの第3弾は、安曇野わさび田湧水群。名水百選30周年記念事業である環境省の「名水百選」選抜総選挙（2016）で二冠を達成した、安曇野わさび田湧水群の最上流部を訪ねます。

わさびの栽培やニジマスの養殖、そして市民10万人の上水を潤す安曇野の地下水。湧水量は1日約70万トン、貯水量は諏訪湖の約300倍と言われ、北アルプスに降った雪が約30年かけて湧き出しています。年間を通して13～15度、夏は冷たく、冬は凍らない湧水は、北アルプスがもたらす安曇野の恵みです。

安曇野をこよなく愛し、不動産を本業とする土地のプロが、扇状地の地形が生み出す安曇野の湧水の秘密に迫ります。（案内人：宮崎崇徳さん）

参加はココブラ信州のホームページから、お申し込みください。 要会員登録

日時 9月28日 9:00～11:00

集合 安曇野の里 駐車場あり

定員 10名

参加費 1,500円 保険料含む。

申込み 7月23日～9月27日

参加はココブラ信州のホームページから、お申し込みください。 要会員登録

<http://cocobura.jp/course/1608/>